

第49回東京都公民館研究大会開催要項

いま、求められる公民館の役割

1 開催趣旨

公民館の役割とは何か。公民館は、いつでも、どこでも、誰でもが学べる機会を提供するという理念のもとに、地域住民自らが自主的・自発的に参加・参画できる学びの場、自由に集い、交流できる場となってきました。また、新しい地域社会の構築の拠点として、地域文化を創造・発信する場となってきました。

昨今、公民館以外でも一個人が生涯を通して様々な形で学べる機会や学べる環境は整ってきている一方で、その学びから地域で集い、交流し、地域社会に活力や潤いを与える機能を発揮することが難しくなっています。他方で、中央集権型社会の破綻から地方主権型社会への改革が打ち出され、地域再生が叫ばれてきました。持続可能な社会の構築のため地域住民にも自助・共助が求められています。

3月11日、東日本大震災が起こり、大きな悲しみとともに一人ひとりがその生き方や暮らし方を見つめなおす契機となり、公民館を通じた地域のきずなが深まり公民館の重要性が再認識されました。

公民館に携わる公運審を中心とした市民のみなさんと職員が集まる本大会で社会教育の原点に立ち返り、一人ひとりが基点となって学びを地域社会の再構築や活性化へどのようにつなげていけるか、また積極的にまちづくりに市民として参加・参画できるか、を支援することを公民館の役割として明確化していきます。

2 主催 東京都教育委員会、東京都公民館連絡協議会

3 後援 東京都市長会、東京都町村会、東京都市教育長会、東京都西多摩郡町村教育長会
東京都市町村教育委員会連合会、日野市教育委員会

4 参加者 市民、公民館運営審議会委員、公民館職員、社会教育関係者、生涯学習関係者
その他本研究大会に関心のある方

5 日時 2011年(平成23年)12月11日(日)
午前10時～午後4時

6 会場 東京都立多摩社会教育会館

7 昼食 周辺店舗をご利用ください。持ち込みの場合は、飲食禁止の部屋がございますのでご確認ください。
ゴミ等の持ち帰りにご協力ください。

8 プログラム 午前9時30分 受付
午前10時～午後4時(昼食 正午～午後1時)
(課題別集会の内容については、裏面をご覧ください)

9 参加費 1,000円

10 申込み方法 別添申込書により10月29日(土)までに、参加費を添えて在住市の公民館、社会教育施設までお申し込みください(社会教育機関は下記振込先にお振り込みください)。

なお、前述の申し込み期限後であっても、参加申し込みは受付いたします。ただし、その場合はご希望の課題別集会に参加できない場合がありますので、ご了承ください。

※お申し込み後の参加費の返金はできません。

※会場の都合により、ご希望の課題別集会に参加できない場合もありますので、申込書には必ず第3希望の集会名までご記入ください。

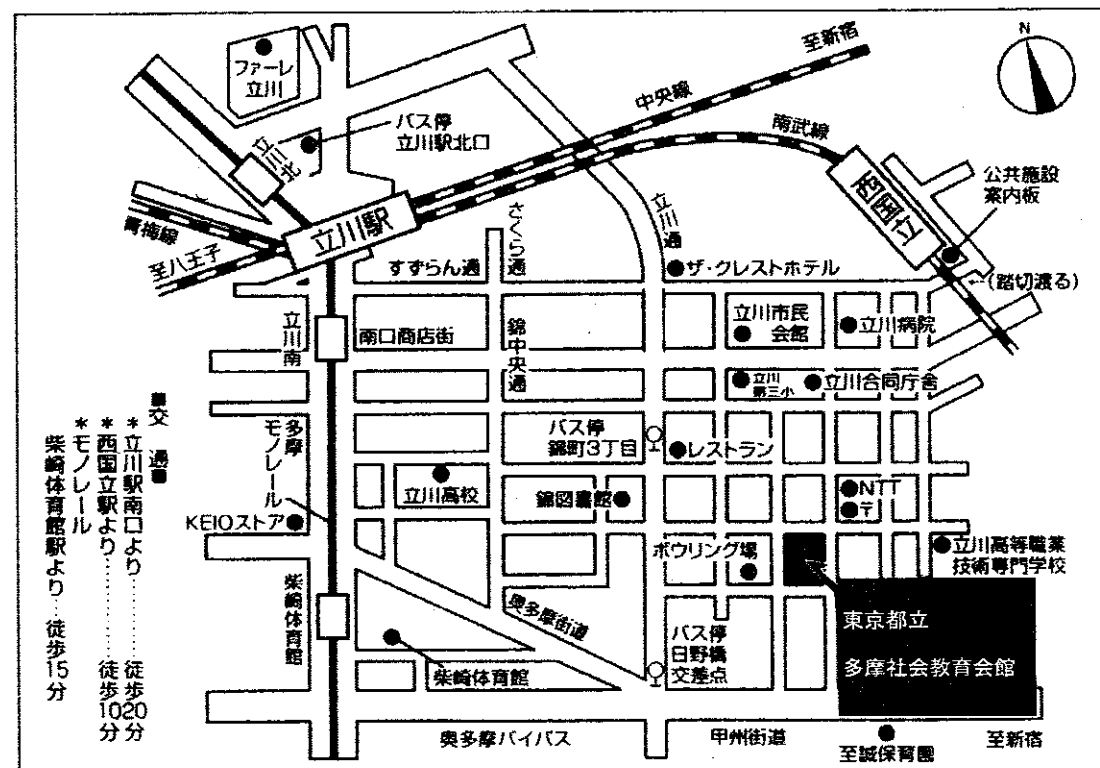
※手話通訳をご希望の方は、申込書にその旨ご記入ください。

○参加費振込先

東京都公民館研究大会
事務局長 阿井 康之(アイ ヤスキ)
多摩信用金庫日野支店
普通預金 口座番号 2747698

11 問合せ先 第49回東京都公民館研究大会事務局
日野市中央公民館 〒191-0011 日野市日野本町7-5-23
Tel. 042-581-7580 Fax. 042-581-2110

<会場図>



第 49 回 東 京 都 公 民 館 研 究 大 会 課 題 別 集 会

	課題別集會名	討議内容	助言者	事例報告者	話題別集會担当 ◎司會者
第一課題別集會	地域を元気にするための公民館の役割	公民館は自主的・自発的に参加・参画できる学びの場の企画(事業)や生涯を通して様々な形で学習する環境が整っている館であるが、もっと公民館を市民にPRし、公民館にいかにか足を運んでいただくかが課題である。 そこで東村山市では、伝統芸能団体である「公益法人落語芸術協会」との連携による公民館事業「笑顔あふれるまち 東村山土曜寄席」を実施し4年目となる。この事業を通し地域文化の振興、地域社会に活力や潤いを与え公民館のPRが出来るのだろうか。魅力ある公民館や今後の可能性について考えます。 午後からは、集會参加者の情報交換会を開催いたします。「特徴のある公民館事業」や「アピールしたい情報」「他市はどうなの?」と聞きたいことなどを持ち寄り、参加市毎にグループに別れ集約し発表していただきますので情報をご準備ください。新たな発見や耳寄りな情報をゲットしましょう!	昔昔亭 笑海さん (落語家 公益社団法人落語芸術協会協会員)	細渕 陸さん (東村山市立中央公民館前事業係長 現市民部 防災安全課課長補佐)	東村山市 ◎内野 昌樹 (東村山市立中央公民館長) 桑原 栄 (東村山市立萩山公民館長) 内藤 哲夫 (東村山市立秋津公民館長) 名倉 靖人 (東村山市立富士見公民館長) 嶋田 進 (東村山市立廻田公民館長) ◎半井 順一 (東村山市立中央公民館館長補佐) 当麻 尚子 (東村山市立中央公民館職員) 東村山市立公民館運営審議会委員
第二課題別集會	知的障がい者の青年学級について	各自治体の公民館では知的障害者青年学級の事業を様々な運営方法で行っています。このような活動を「公民館」で行うことの意味は何でしょうか。知的障害のある方たちへの理解を深め、地域に支え合いの輪を広げていくことについて、国分寺市の「くぬぎ教室」の取り組みや事例などを通して、一緒に考えていきましょう。	安藤 聡彦さん (埼玉大学教授)	中塚 寿子さん (国分寺市立並木公民館くぬぎ教室スタッフ) 宮本久美子さん (国分寺市立本多公民館くぬぎ教室保護者) 成田 裕子さん (国分寺市立本多公民館くぬぎ教室担当職員)	国分寺市 成田 裕子 (国分寺市立本多公民館職員) 水越 順子 (国分寺市立本多公民館長) 棟方 貞夫 (国分寺市立恋ヶ窪公民館長) 古谷 一 (国分寺市立並木公民館職員) ◎野中 哲也 (国分寺市立光公民館職員) 小野 裕美 (国分寺市立もとまち公民館職員) 奥 信吾 (国分寺市立本多公民館運営審議会委員) 千葉 健一 (国分寺市立並木公民館運営審議会委員)
第三課題別集會	「震災後」の社会と公民館の課題	3.11東日本大震災は、東日本沿岸部への甚大な被害に加えて、福島原子力発電所の事故という未曾有の危機の発生により、世界的規模の多面的な影響を与えています。日本社会に大きな転換を迫る事態に対して、公民館のこれからの役割も問われています。 本分科会では、原発問題等が私たちの暮らしに突きつけている課題や、これからの共生の社会づくりの課題を取り上げ、公民館はどのように向きあえるのかを探りたいと思います。「震災後」社会における公民館や社会教育の新しい課題について、一緒に考えてみませんか。	朝岡 幸彦さん (東京農工大学教授)	國本 隆史さん (映画監督/特定非営利活動法人たかとり コミュニティセンター【神戸市長田区】) 矢田 富士子さん (野のはなkunitachi) 吉村 多恵子さん (KUNIFA日本語サポート)	国立市 石田 進 (国立市公民館長) ◎井口啓太郎 (国立市公民館職員) 庄司 沙絵 (国立市公民館職員) 田島 千晶 (国立市公民館職員) 山崎 健 (国立市公民館職員) 山崎 功 (国立市公民館運営審議会委員) 山家悠紀夫 (国立市公民館運営審議会委員)
第四課題別集會	ホームページの活用	生涯学習の中核的施設として期待されている公民館では、誰もが平等に学習の機会を利用できるよう広報活動の充実が求められています。インターネットは年齢を問わず利用されていますが、公民館のホームページへのアクセスは必ずしも多くありません。 地域の特色を活かした多様な情報発信をするとともに、多くの人々に公民館の魅力を知ってもらうために、ホームページの役割について考えます。	坂井 知志さん (常磐大学コミュニティ振興学部教授)	神奈川県相模原市立光が丘公民館 ホームページ作成委員会スタッフ 若名 高彰さん (都公連職員部会員・昭島市公民館職員)	都公連職員部会 尾又 史朗 (小平市立津田公民館長) 若藤 良弘 (小金井市公民館緑分館職員) 若名 高彰 (昭島市公民館職員) 長南 清英 (まちだ中央公民館職員) ◎竹内 晴美 (西東京市柳沢公民館職員) 秋山喜久江 (福生市公民館松林分館副館長) 田中健太郎 (狛江市立西河原公民館職員) ◎宮田 勇樹 (東大和市立狭山公民館職員)
第五課題別集會	公民館はじめの一步	「公民館って何するところ?」公民館と聞くと、みなさんは何を思い浮かべますか? もちろん講座を開催することや部屋貸しをするのは公民館の役割の一つですが、今の公民館はそれ以外にも防災の機能等、様々な事が要求され、期待されている場所でもあります。公民館の役割が多様多様になり、公民館に来る理由も様々です。 公民館での具体的な活動実績を通して、公民館が期待されていること、役割が何なのかを一緒に考えましょう。	片野 親義さん (大東文化大学非常勤講師)		都公連研修会 竹 路子 (西東京市柳沢公民館職員) ◎小池 素子 (西東京市田無公民館職員) ◎牧野 有美 (西東京市ひばりが丘公民館職員) 高山 輝男 (西東京市保谷駅前公民館職員) 小笠原雄二 (福生市公民館職員) 祁答院奈緒 (福生市公民館白梅分館職員) 高橋 佳宏 (東大和市立中央公民館職員) 丸山あずさ (まちだ中央公民館職員) 松下 剛 (小金井市公民館東分館職員)